

SANUS®

VMF308壁掛金具 取扱説明書

----- 重量 27kg以下の薄型テレビの取り付けに適用 -----

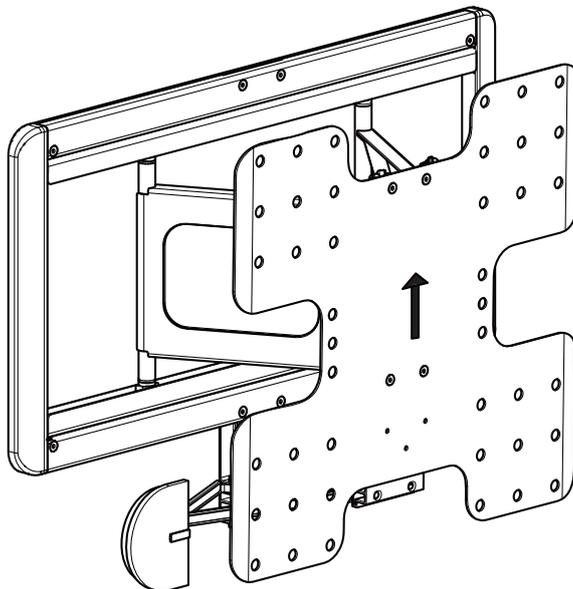
この度は、VMF308の壁掛金具をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
VMF308は32V型～50V型の薄型テレビの取付用です。
ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
お読みになったあとは大切に保存してください。

本製品をご利用になるお客様へ

本製品の取り付けには、特別な技術や確実な作業が必要となります。必ず、販売店や工事店に依頼して、安全性に十分考慮して確実な取り付けを行って下さい。

販売店様・工事業者様へ

薄型テレビの取り付けには特別な技術が必要ですので、設置の際は取扱説明書をよくご覧の上、設置を行って下さい。取り付け不備や、取り扱い不備による事故や損傷については、当社では一切の責任を負いません。



Sanus Systems 輸入総代理店・発売元

NETWORK JAPAN

お問い合わせ・ご購入は、弊社正規販売店又は弊社営業窓口へ

〒557-0045 大阪市西成区玉出西2丁目16-3

ネットワークジャパン株式会社 TEL 06-6105-0707 / FAX 06-6105-0708

<http://www.network-jpn.com/> E-mail : info@network-jpn.com

安全上のご注意

お使いになる人や他人への危害、物的な損害を未然に防ぐため、必ずお守り頂きたい事項を説明します。表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告 人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。



注意 人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。

お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。(してはいけない禁止内容)



人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。(実行すべき強制内容)



人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。(気をつける内容)

警告



禁止

壁の強度は少なくともテレビと壁掛金具を合わせた重量の5倍の重量に耐える強度が必要です。VMF308 壁掛金具は、32V型～50V型で、総重量27kg以下の液晶等の薄型テレビを、木柱又はコンクリート製の壁面に固定するためのものです。これらの最大耐荷重以上の薄型テレビの取り付けには絶対使用しないで下さい。又、木製やコンクリート以外の(鉄骨製などの)壁面には取り付け出来ません。この指定を守らないと、薄型テレビが落下して、けがをしたり、テレビが破損する原因となります。



工事専門業者以外は取り付け工事を行わないで下さい。専門業者以外が工事を行うと、工事の不備により落下してけがの原因になります。



取り付け強度は、安全のため十分余裕を取って下さい。強度が不足すると落下して死亡やけがの原因になります。



荷重に耐えられない場所には取り付けしないで下さい。強度の弱い壁や平面でなかったり垂直でない壁に取り付けると落下してけがの原因になります。



湿気やほこりの多いところや油煙や湯気の当たる場所や屋外には取り付けしないで下さい。又、エアコンの上や下にテレビを取り付けしないで下さい。テレビに悪影響をあたえたり、火災・感電の原因になります。



禁止

組み立ての手順を守り、指定の箇所はすべて確実にネジ止めして下さい。ネジ山の破損したネジや、さびたネジは絶対使わないで下さい。指定を守らないとテレビの取り付け後に破損や落下等、思わぬ事故の原因となることがあります。



テレビの取り付けや取り外し作業は2人以上で行って下さい。テレビが落下して、けがをしたりテレビが破損する原因となることがあります。



禁止

本製品には小さな部品が同梱しており、誤って飲み込むと窒息の危険性がありますので、お子様の近くにこのような部品を置かないで下さい。又、壁掛け金具の組み立ての際は、危険ですからお子様を周囲に近づけないで下さい。



取り付け作業の際は、テレビや周辺機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。感電の原因になったり、テレビや周辺機器を破損する恐れがあります。



組み立てる前に、すべての部品が揃っており、破損してないことを確認してください。足りない部品又は破損している部品のある場合は、ネットワークジャパン(株)に連絡して下さい。尚、破損した部品は、絶対にご使用しないで下さい。



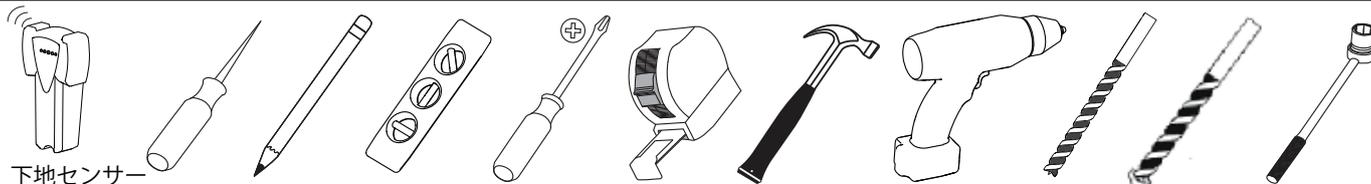
壁掛け金具を壁面に固定するネジは下記の部品表に記載してありますが、壁面の材質や強度によっては不適合な場合がありますので、その場合は市販の適切なネジを使って下さい。



ネットワークジャパン(株)は、不適切な組み立てや、使用により発生したけが等の傷害や、物品の損傷に対して一切の責任を負いません。

重要 本製品を使用する前に、この説明書をよくお読み下さい。又この説明書は、大切に保管して下さい。

必要な工具類

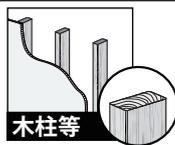


仕様

- 耐荷重 : 27kg (テレビと付属品を含みます)
- 適応テレビサイズ: 32V型 ~ 50V型 ※左記を超過しないようにして下さい。
- ティルト調整 : -10°
- 左右首振り角度 : ±35°

取付可能な壁面

※下記は一例です。実際の施工に関しては専門の工事業者様が専門的に壁面を診断の上、最適な工法を決めて施工して下さい。



- ★ 金具を取付ける柱の寸法は、取付ける面の幅 38mm 奥行き 89mm以上が必要です。
- ★ しっかりとした柱に固定された、厚さ 20mm 以上の構造合板など



- ★ コンクリート壁面の使用可能な最小厚さは、203mm 必要です。
- ★ コンクリートブロックの使用可能な最小のサイズは、203 X 203 X 406mm 必要です。(空洞や隙間のあるブロックには使用できません。)

注意: ケガをしたり、壁面を破損しないように次の点に注意して下さい。

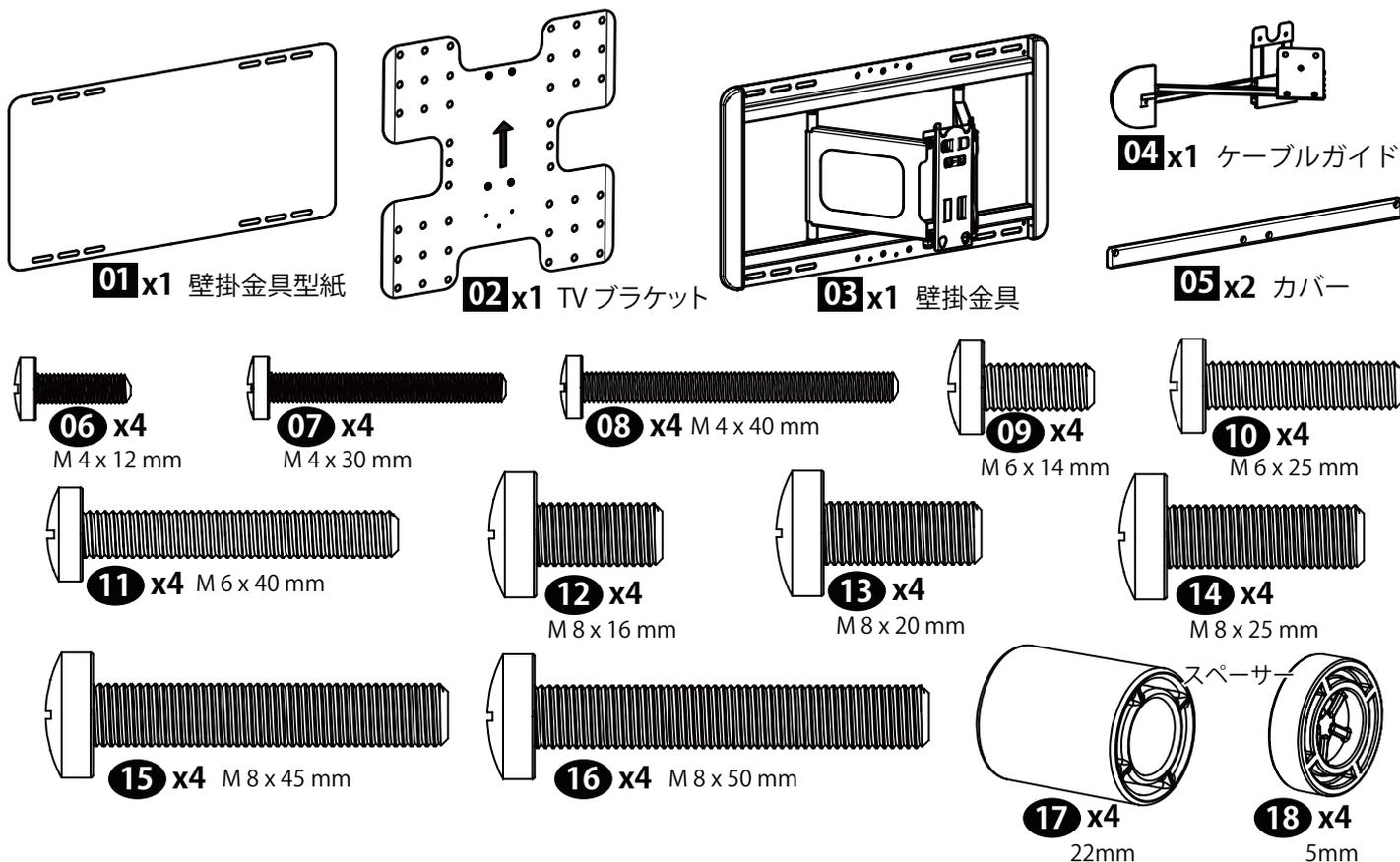
- ★ 用途以外の目的で本製品を使用しないでください。★ ご利用の壁面は、テレビと壁掛金具の総重量の5倍を支えられなければなりません。
- ★ 本製品は金属製柱の壁での使用には適していません。
- ★ ここに記載される内容が解らない場合、または製品の取り付け、組み立てや仕様、その他ご質問がある場合は、ネットワークジャパン (株) 又は認定業者にお問い合わせください。
- ★ 付属の部品はすべて使用する必要はありません。ご利用の環境に合わせて必要な部品をお選びください。また、ご利用の環境によっては別途、お客様において部品をご用意いただく必要があります。

使用する部品类 - 1

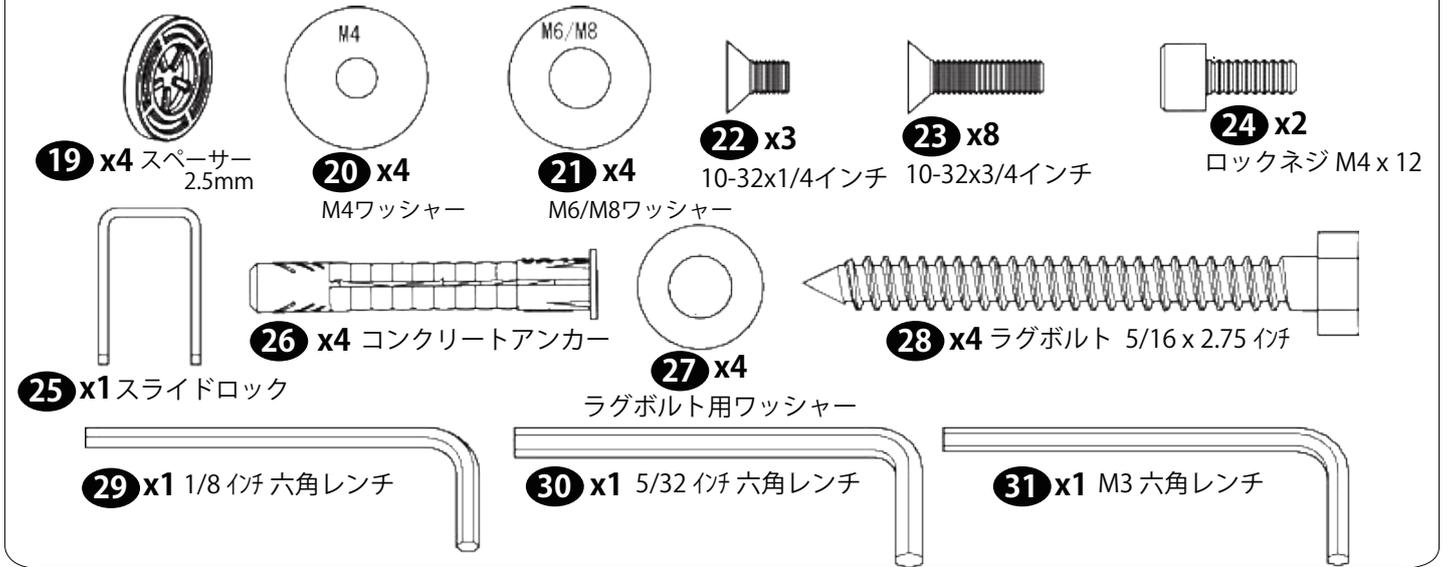
警告 : 本製品には小さい部品が付属しており、誤って飲み込むと窒息の危険性があります。

組み立てを始める前に、部品がすべてそろっており、破損していないことを確認してください。足りない部品または破損している部品がある場合は、ネットワークジャパン (株) までご連絡ください。破損した部品は絶対にご使用にならないでください。

注意: M4、M5、M6、又は M8 は直径を指し、mm は「M# X ##mm」の表記において、ネジの長さを指します。付属の部品をすべてを使用するわけではありません。



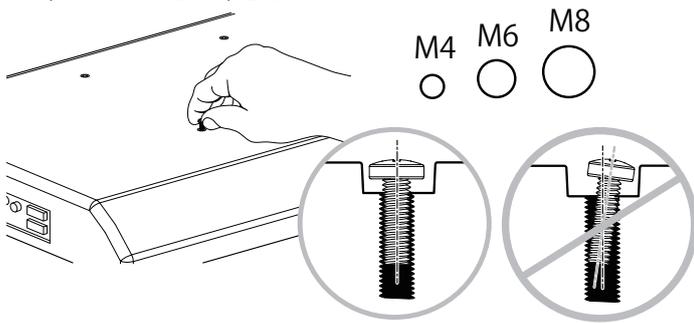
使用する部品类 - 2



STEP 1 ブラケットをテレビに取り付ける

1-1 テレビ取付用ネジの口径と長さの選択

お使いのテレビの形状によって、使用する部品が決まります。テレビの背面のネジ穴に手でネジを入れて、適合する正しいネジの直径 (M4、M6 又は M8) を見つけます。



⚠ 注意 ご使用のテレビに対して、ネジやスペーサーを組み合わせて、適正なネジ山のかみ合わせを確認して下さい。首下の短いネジは、テレビを十分保持できず、首下の長すぎるネジは、テレビの内部に損傷を与える恐れがあります。
※テレビのネジ穴の深さにより、スペーサーを使う必要の無い場合もあります。



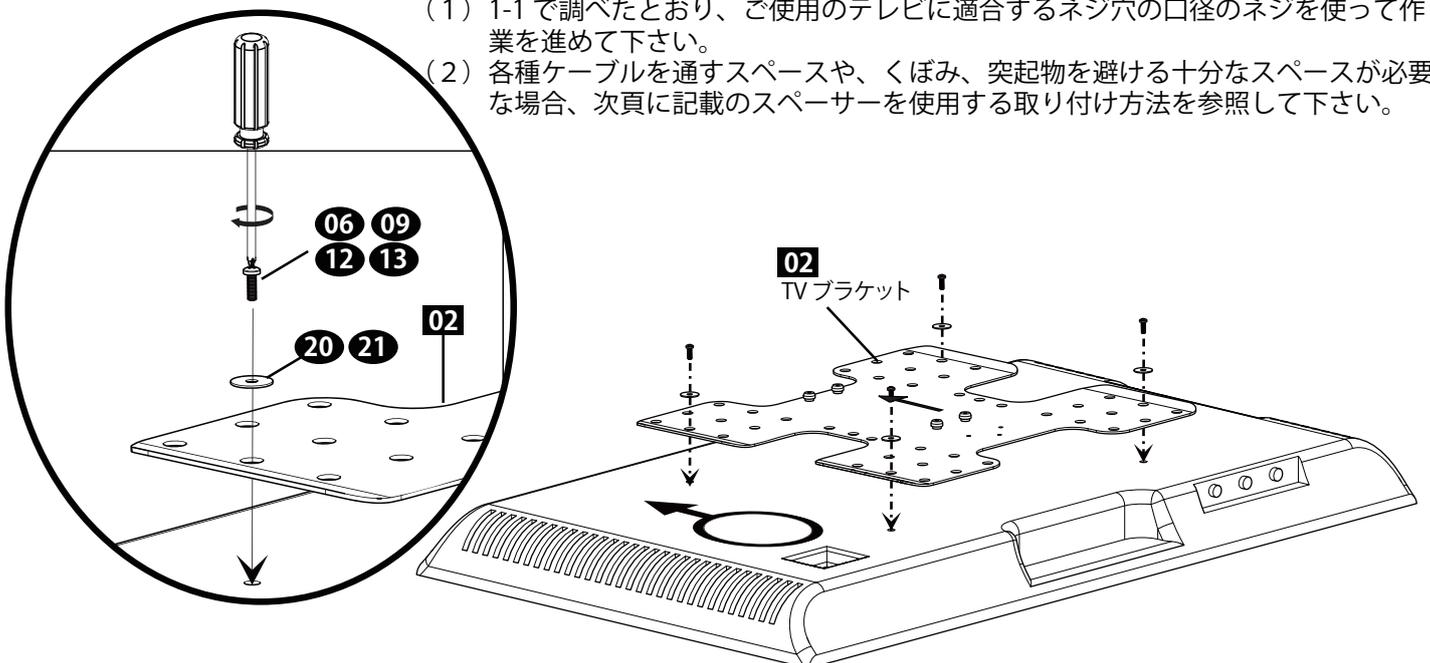
⚠ 注意 ケガをしたり、テレビを破損しないように注意してください。同梱のネジ以外の長さのネジが必要な場合には、別途市販のネジを各自でご用意ください。

1-2 TVブラケットの取り付け方法

A. 背面に障害物のないテレビ (背面がフラットなテレビ)

注意：薄型テレビの電源をOFFにし、且つ電源コードがコンセントから抜かれている事を確認して下さい。

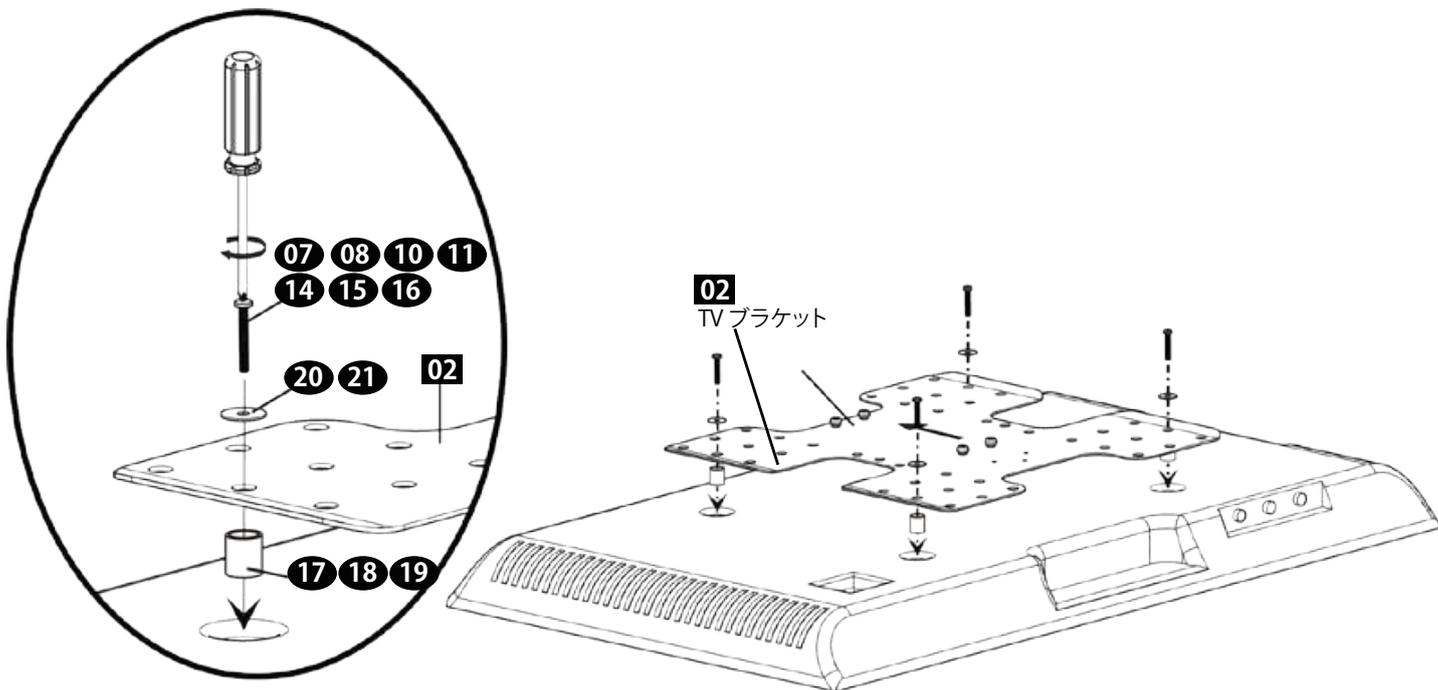
- (1) 1-1 で調べたとおり、ご使用のテレビに適合するネジ穴の口径のネジを使って作業を進めて下さい。
- (2) 各種ケーブルを通すスペースや、くぼみ、突起物を避ける十分なスペースが必要な場合、次頁に記載のスペーサーを使用する取り付け方法を参照して下さい。



1-2 TVブラケットの取り付け方法

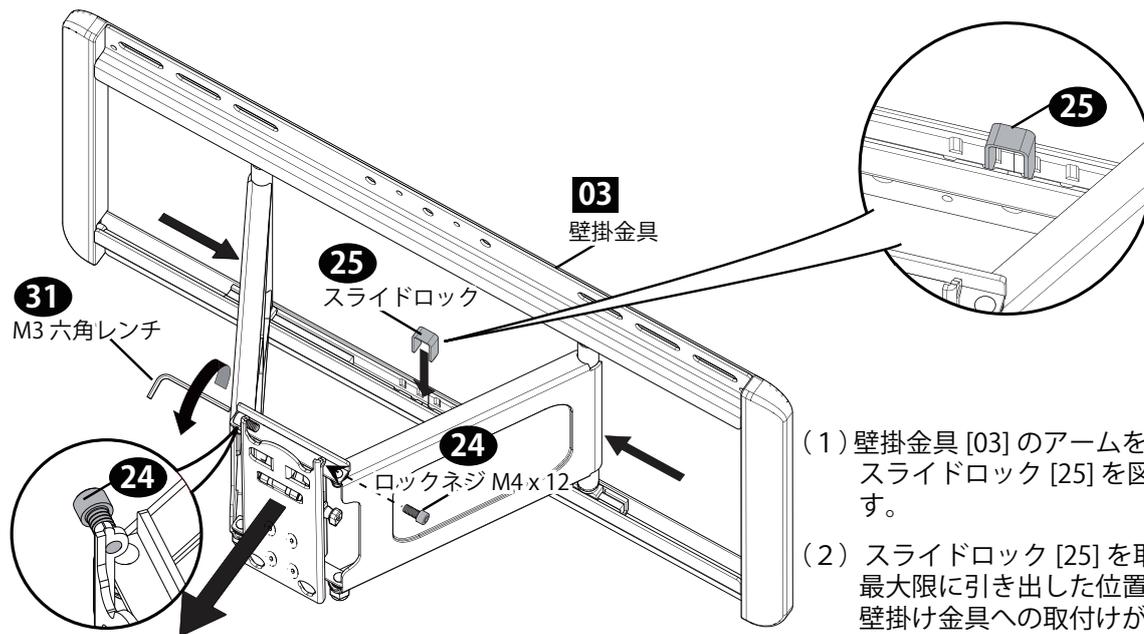
B. 背面が平らで無かったり、ケーブル等を避けるスペースを空ける必要がある場合
1-1 で調べたとおり、ご使用のテレビに適合するネジ穴の口径のネジを使って作業を進めて下さい。

注意： 薄型テレビの電源をOFFにし、且つ電源コードがコンセントから抜かれている事を確認して下さい。



STEP 2 壁掛金具を壁面に取り付ける

2-1 壁掛金具を取り付ける前に (壁掛金具の準備)



(1) 壁掛金具 [03] のアームを同時にスライドさせて、スライドロック [25] を図の位置に取り付けます。

(2) スライドロック [25] を取り付けると、アームを最大限に引き出した位置で固定でき、テレビの壁掛け金具への取付けが容易になります。

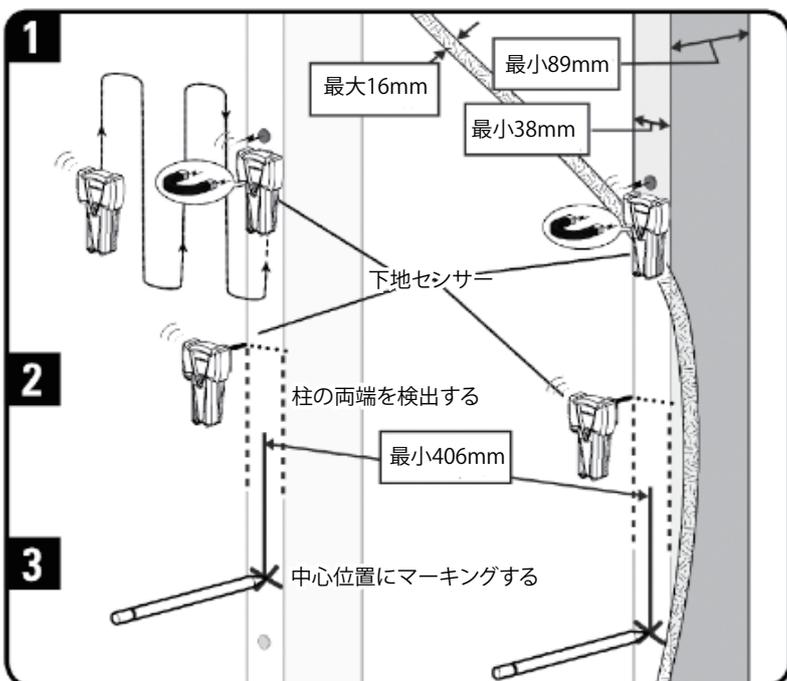
(3) ロックネジ [24] を図の様に壁掛金具 [03] の横に、M3 の六角レンチ [31] を使って仮取り付けします。このときロックネジ [24] の先端が金具の内部に収まる程度にゆるく締めます。この作業は、この後の工程でテレビを壁掛金具に取り付ける際の準備です。ネジを締め付け過ぎると、後の工程で TV ブラケット [02] が取り付けられなくなるので、ネジの先端が金具の厚みの表面から出ない程度でとどめてください。

2-2A 壁掛金具を取り付ける --- < 2本の木柱を利用した取付例 >

警告: 壁掛金具を取り付ける壁面は、壁掛にするテレビと壁掛金具の総重量の 5 倍の重量を、保持する強度が必要です。各家屋毎に壁面の構造や強度が異なりますので、工事業者様が専門的に壁面を診断の上、最適な工法を決めて施工して下さい。下記の「木柱壁」への取り付けの説明は、工事方法の一例として参考にして下さい。
 なお、本壁掛金具は、木柱の無い石膏ボード自体や鉄柱・鉄骨には取り付けできません。これらの取付対象外の壁面に取り付けると、テレビが落下してけがや損傷事故が発生する場合があります。

施工の条件:

- ★ 壁面を覆う石膏ボードや壁面パネル・壁紙等の厚みは、16 mm 以下にしてください。
- ★ 金具を取付ける柱の寸法は、取付ける面の幅 38mm 奥行き 89mm以上が必要です。
- ★ 柱と柱の間隔は、406mm 以上が必要です。
- ★ 柱の中心位置は、必ず確認してください。各家屋毎の柱の寸法は必ずしも規格のサイズではありません。



注記:

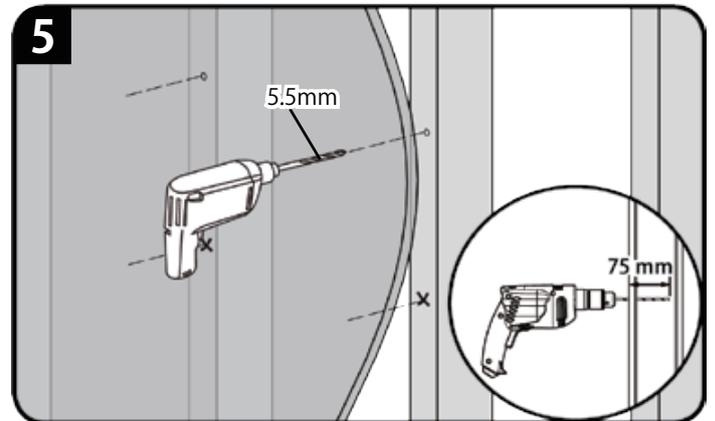
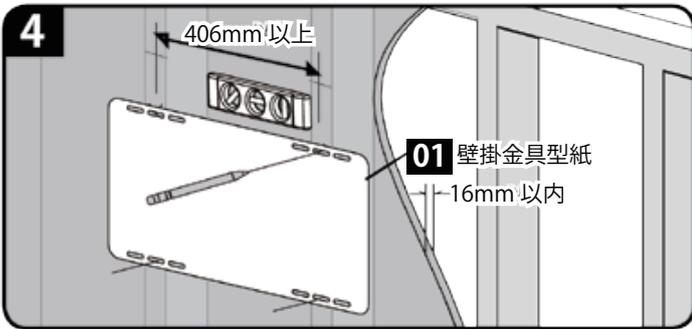
下地センサー (木柱センサー) は壁の中にある下地材をセンサーで感知して知らせてくれるものです。下記の 1~3 は、下地センサーを用いた柱位置検出方法の一例です。詳細はご使用の下地センサーの取扱説明書に従って下さい。

1. 下地センサーや、千枚通しや、細い釘などを使って、右図の様に柱の位置を確認します。
2. 下地センサーを左右に動かすと、柱の端を検知するので、マーキングします。
3. 二つのマーキング (両端) から柱の中心位置にマーキングを付けます。

4. 壁掛金具型紙[01]をご希望の高さで、且つ穴位置は柱の中心線上に配置します。壁掛金具型紙 [01]を水準器で水平度を確認してから、ペンで4箇所印を付けて下さい。

重要：下穴を開ける時は、必ず柱の中心線上でなければなりません。

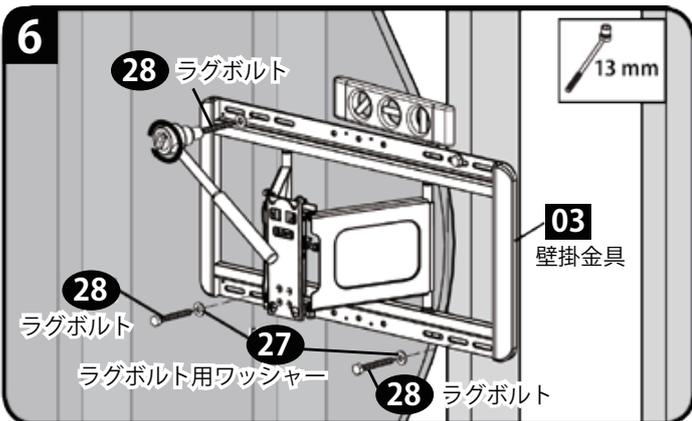
5. 柱の下穴は、先にペンでマークした位置に5.5mm 径のドリルビットを使って、約75mm の深さに4箇所開けます。



6. 上下4箇所の下穴と壁掛金具 [03] のネジ穴をあわせて、ラグボルト [28] とラグボルト用ワッシャー [27] を使用し壁掛金具 [03] を壁面に取り付けます。

注意：ラグボルト [28] を締め付ける時、壁掛金具 [03] が所定の位置からずれないように、水準器を壁掛金具 [03] にあてがい水平を確認しながら壁掛金具 [03] をしっかりと支えて作業して下さい。

またこのとき、必要以上にラグボルト [28] を締めつけ過ぎないようにご注意ください。



2-2B コンクリート又はコンクリートブロック壁面への取り付け

警告：壁掛金具を取り付ける壁面は、壁掛にするテレビと壁掛金具の総重量の5倍の重量を、保持する強度が必要です。各家屋毎に壁面の構造や強度が異なりますので、工事業者様が専門的に壁面を診断の上、最適な工法を決めて施工して下さい。下記の「コンクリート又はコンクリートブロック壁面」への取り付けの説明は、工事方法の一例として参考にして下さい。

なお、本壁掛金具は、空洞のあるコンクリートブロックや下記の基準以下の厚みの壁面、鉄柱・鉄骨には取り付けできません。これらの取付対象外の壁面に取り付けると、テレビが落下してけがや損傷事故が発生する場合があります。

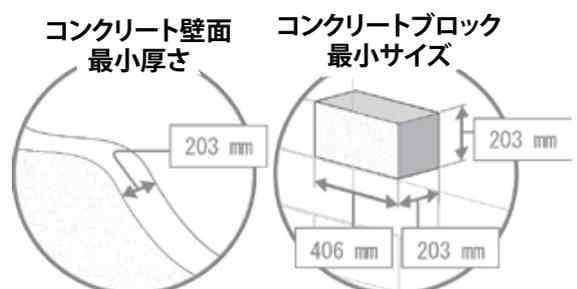
施工の条件：★ 壁掛金具[03] は、直接コンクリート又はコンクリートブロック表面に取り付けて下さい。

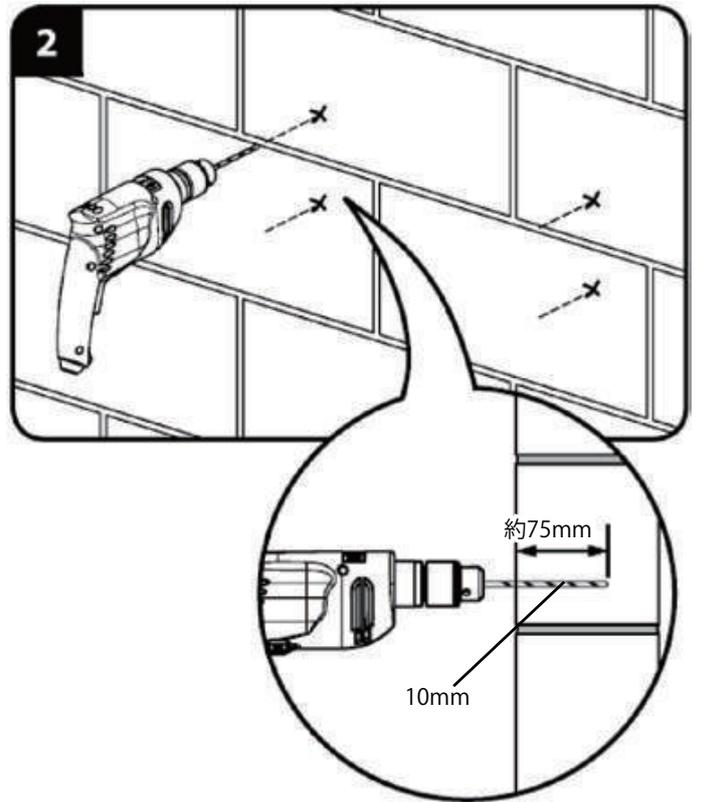
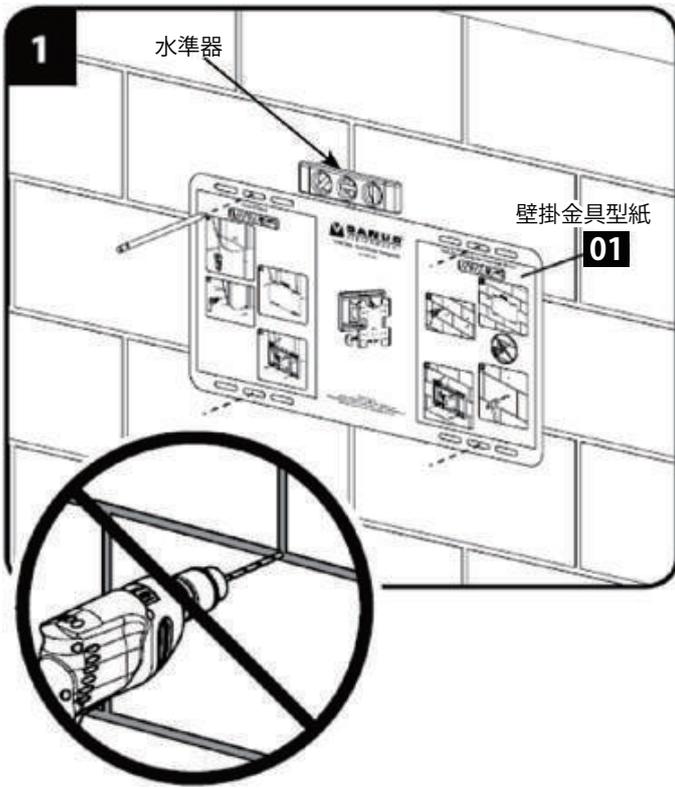
★ コンクリート壁面の使用可能な最小厚さは、203mm 必要です。

★ コンクリートブロックの使用可能な最小のサイズは、203 X 203 X 406mm 必要です。

(空洞のあるものには使用できません。)

★ 水平方向のネジ穴の間隔は、406mm以上必要です。

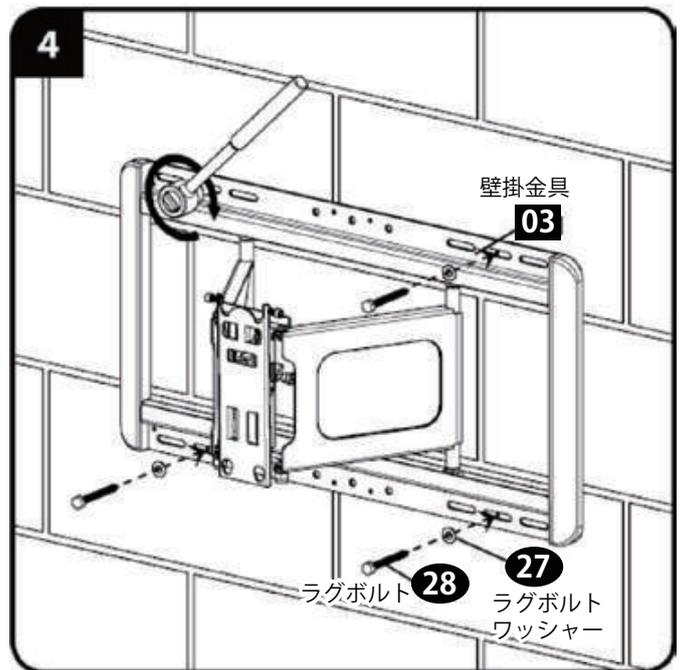
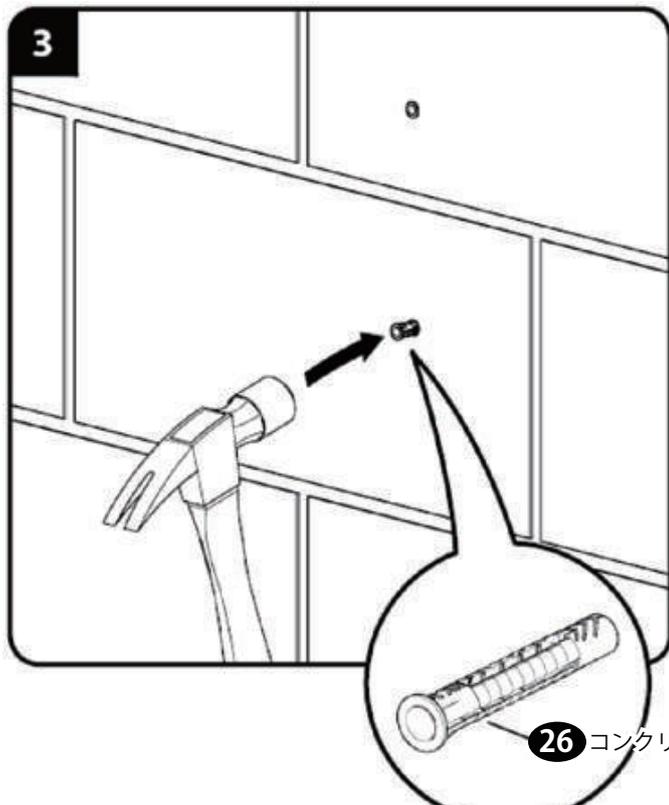




1. 壁面の希望の高さに、壁掛金具型紙 [01] を配置します。壁掛金具型紙 [01] は水準器で水平を確認してから、穴位置に4箇所のマーキングを付けます。

重要：ブロックの間のモルタル部には、取り付け強度が保てないのでドリルで絶対穴を開けないで下さい。

2. 壁掛金具型紙 [01] を取り除いてから、10mm 径のドリルビットを使って4箇所のマーキングの位置に、おおよそ75mm の深さに下穴を開けます。



3. 先に開けた4箇所の下穴に、コンクリートアンカー [26] を埋め込みます。このとき、アンカーがコンクリートからはみ出ないようにしっかりと打ち込んでください。

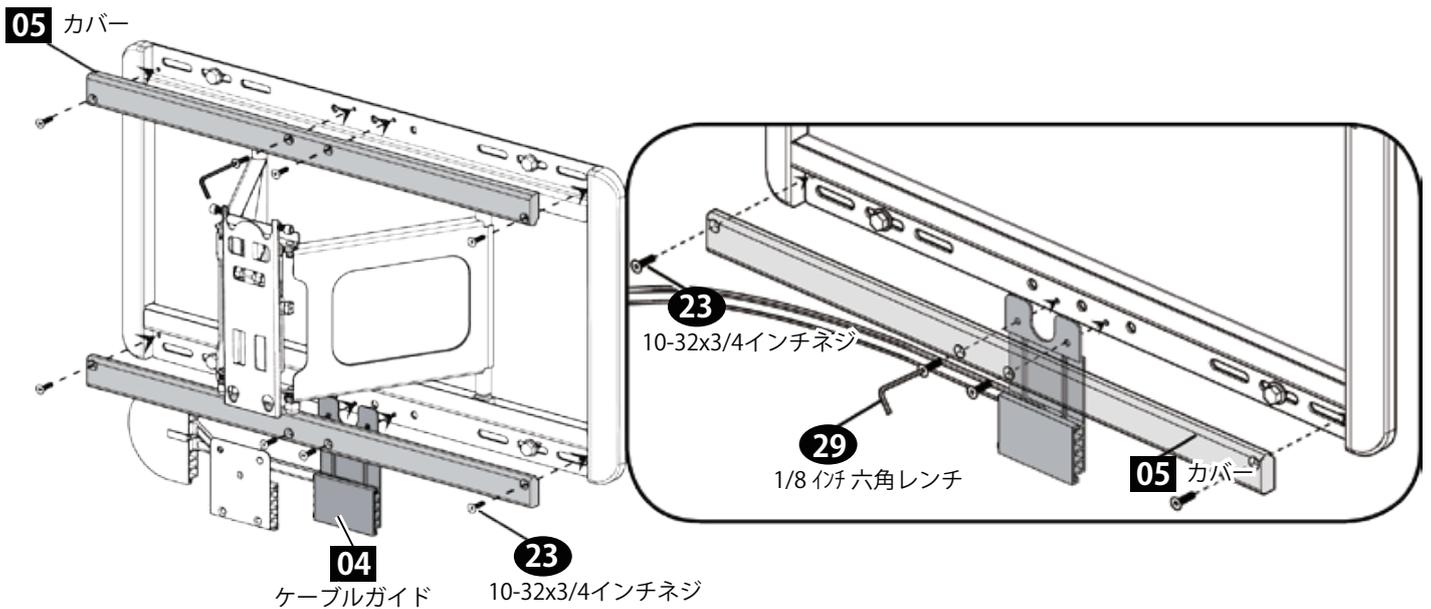
4. 上下4箇所のコンクリートアンカー [26] と壁掛金具 [03] のネジ穴をあわせて、ラグボルト [28] とラグボルト用ワッシャー [27] を使用し壁掛金具 [03] を壁面に取り付けます。

注意：ラグボルト [28] を締め付ける時、壁掛金具 [03] が所定の位置からずれないように、水準器を壁掛金具 [03] にあてがい水平を確認しながら壁掛金具 [03] をしっかりと支えて作業して下さい。

またこのとき、必要以上にラグボルト [28] を締めつけ過ぎないようにご注意下さい。

2-3 壁掛金具にカバーを取り付ける

カバー [05] を 10-32x3/4 インチネジ [23] を使用し、1/8 インチ六角レンチ [29] で締め付けて取り付けます。また、ケーブルガイド [04] をご利用になる場合には、図のように下部のカバー [05] と壁掛金具 [03] の間に挟みこんで、10-32x3/4 インチネジ [23] でとめてください。

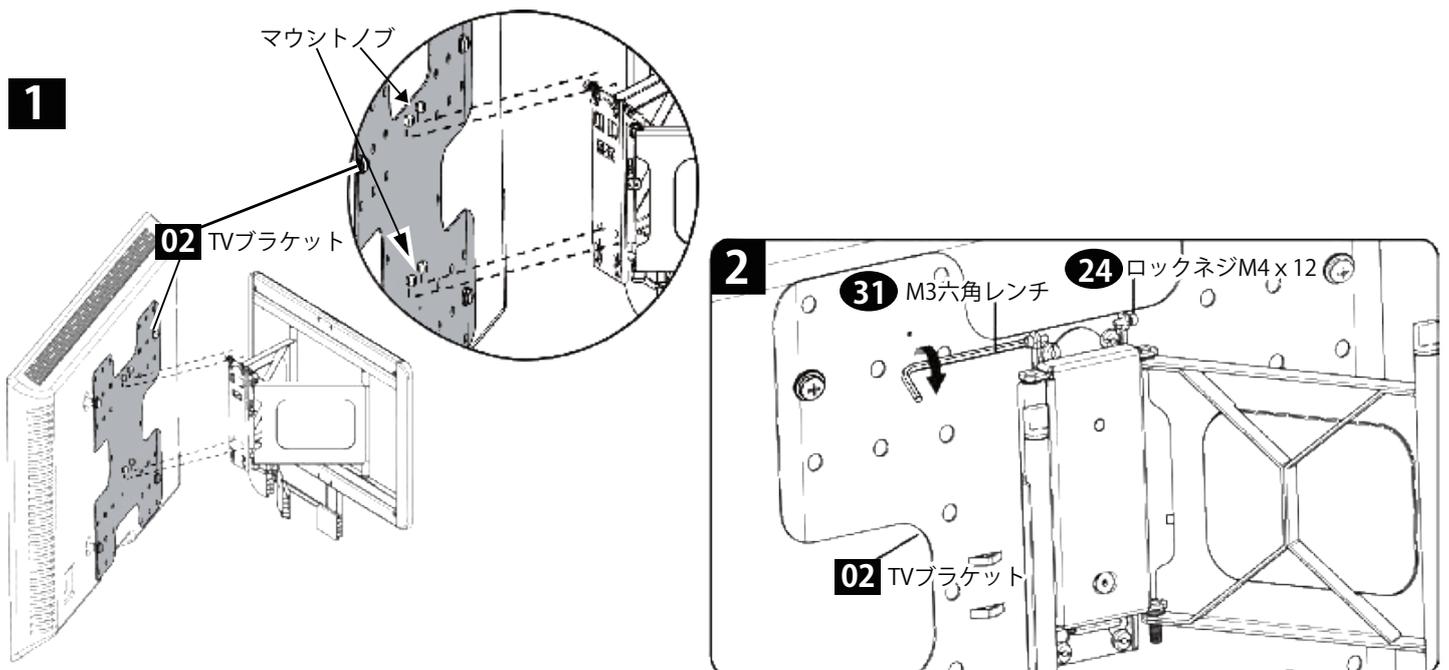


STEP 3 テレビを壁掛金具に取り付ける



重量があります！
この作業は二人以上
で行ってください。

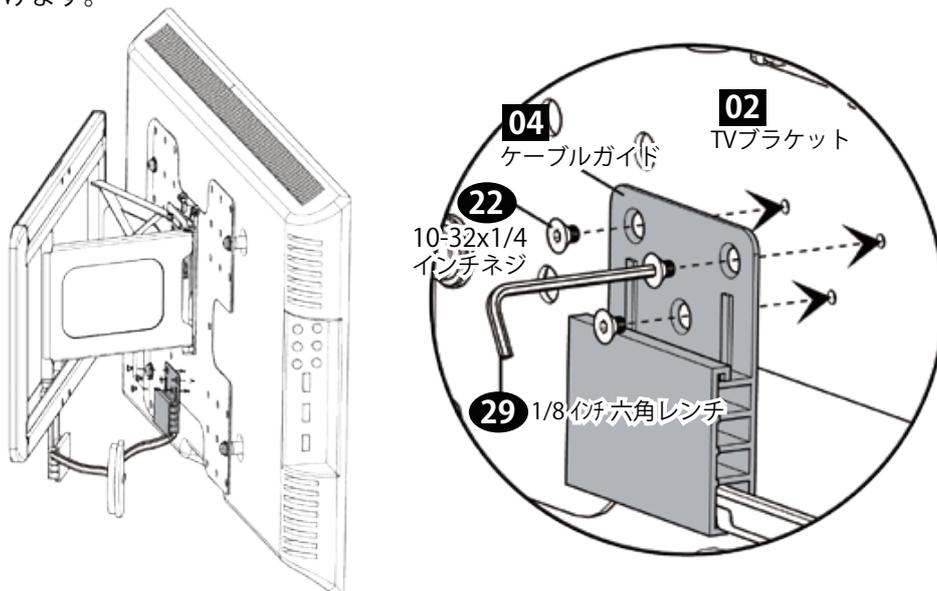
1. 図のようにテレビにつけた TV ブラケット [02] の 4 箇所のマウントノブを、壁掛金具 [03] の前面プレートの 4 箇所のスロットに引っ掛けて取り付けます。
2. 最後にロックネジ M4 x 12 [24] を M3 六角レンチ [31] でねじ込んで TV ブラケット [02] が脱落しないように固定してください。



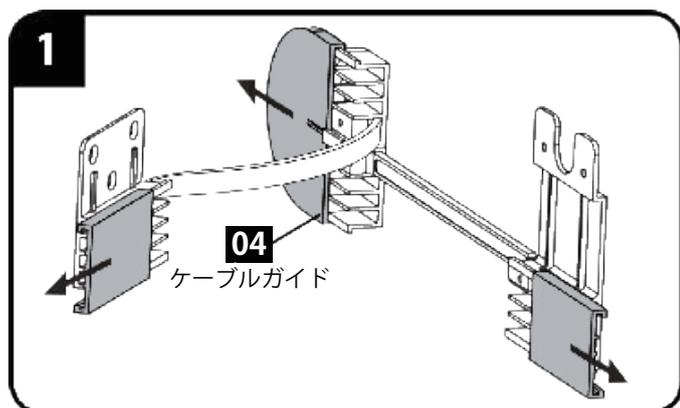
STEP 4 ケーブルガイドの装着

※ 9 ページの 2-3 項でケーブルガイドを取り付けた場合には、この項目をお読みいただき、ケーブルガイドの装着を行って下さい。

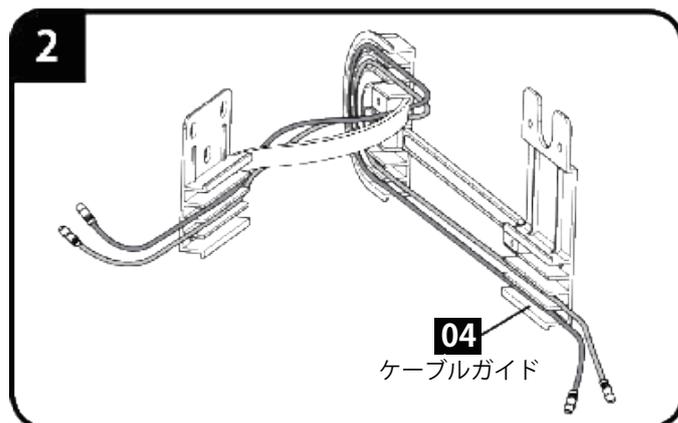
ケーブルガイド [04] を図のように 10-32x1/4 ネジ [22] (3 個) と 1/8 インチ六角レンチ [29] を用いて、TV ブラケット [04] の背面に取り付けます。



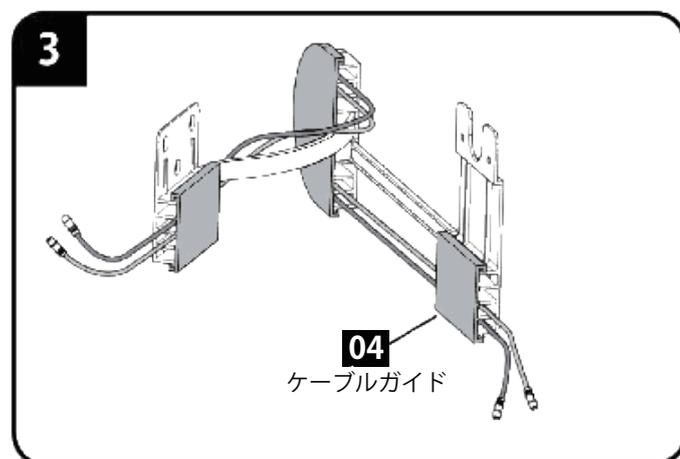
ケーブルガイドの使用方法



1. 図のように、3 箇所のカバーをスライドさせて取り外します。



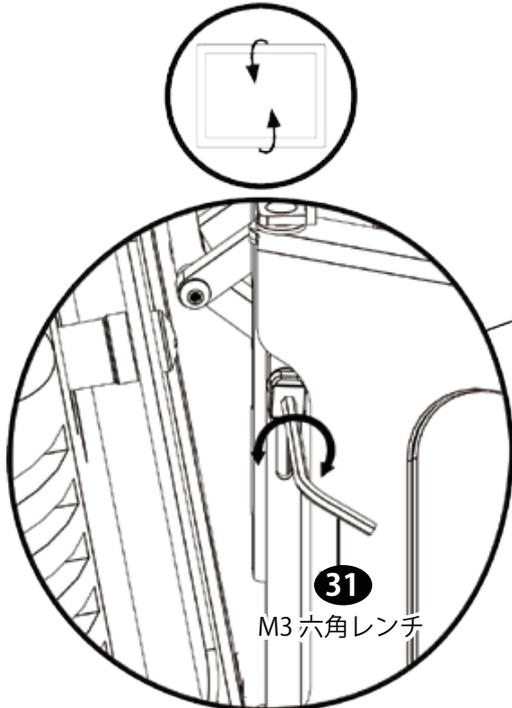
2. ケーブルガイドのレールに図のようにケーブルを配線します。



3. 1. で取り外したカバーを元に戻して終了です。

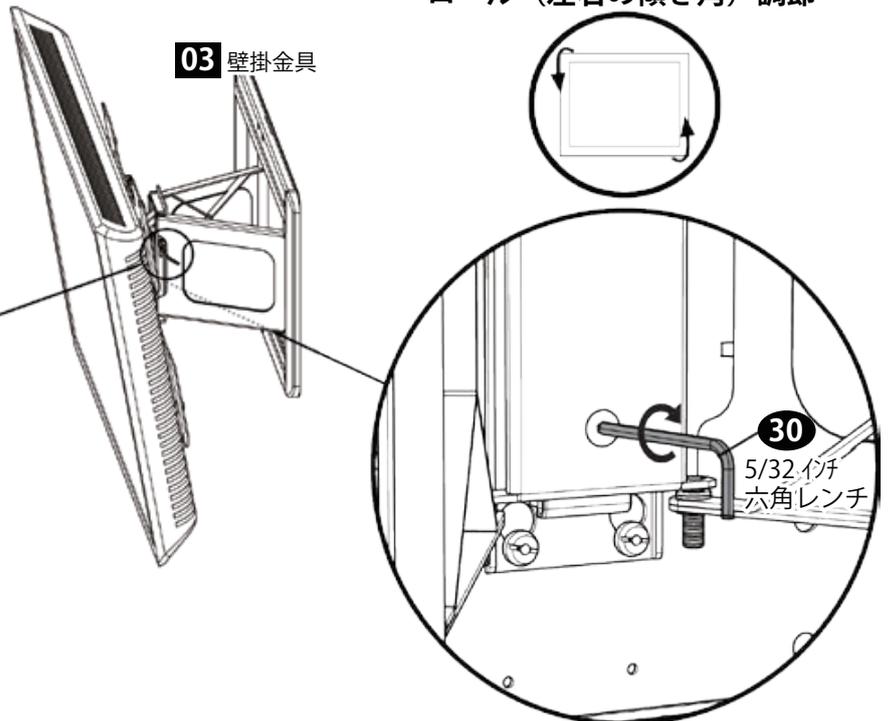
STEP 5 角度の調節

ティルト（俯き角）調節



ティルト調節：図の様にお好みのテンションで、上下方向の視野角が可変出来るように、M3 六角レンチ [31] で調節をします。

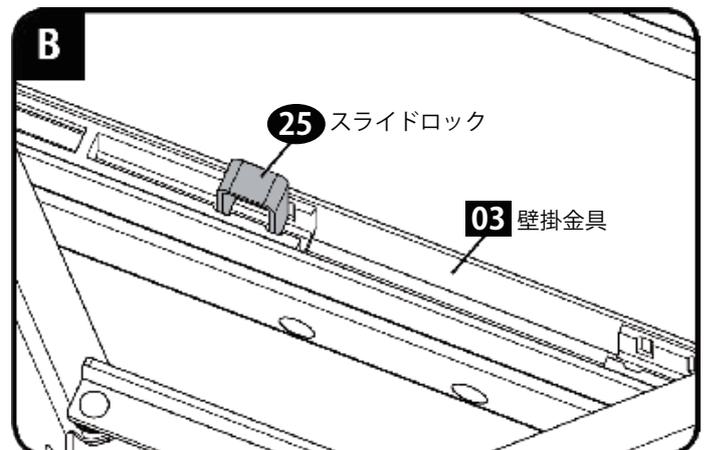
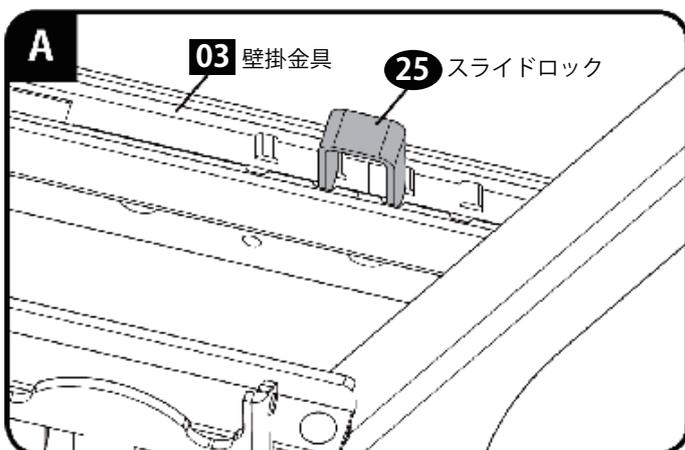
ロール（左右の傾き角）調節



ロール角度調節：必要があれば、ロール角度の回転は、5/32 六角レンチ [30] で調整します。

注意：壁掛金具には、スムーズなフルモーション動作のためにある程度の余裕（遊び）を持たせているために、テレビ自体のバランスの不均衡などで、テレビ本体が多少傾くことがあります。傾きを防ぐには、市販のケーブルバンドなどの固定具で壁掛金具を固定していただければ防げます。

STEP 6 スライドロックの取り外しと保管



設置・調整が完了しましたら、6ページの「STEP 2」でA図の様に壁掛金具 [03] に取り付けしたスライドロック [25] を、ロック位置から取り外し、B図の様にスライドの1つの溝に取り付けて保管して下さい。

